

Rotary International District 2500

Governor's Monthly Letter

2019 ▶ 2020



霧多布岬の岩礁群

Vol.08 ガバナー月信
2020.2.1



— 地区活動方針 —

「知らずで語れず！」

CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
会員増強委員会レポート	2
グローバル補助金奨学生レポート	4
2019～2020年度米山奨学生面接試験	9
ガバナー公式訪問同行記	10
ガバナーノミニーマの宣言	11
米山奨学生レポート	12
ハイライトよねやま	13
コーディネーターNEWS	15
ロータリー文庫	16
新入会員・寄付者・物故会員者	17
「100%ポールハリス」達成クラブ	18
例会出席率及び会員数推移	

ガバナーメッセージ

2019-2020年度
国際ロータリー第2500地区ガバナー

吉田潤司

(釧路ロータリークラブ)



今日は2020年1月9日です。私は今、月信2月号を書いています。月信は、発行月の約1ヶ月前が締め切りのため明日が締め切り日です。

そんなわけで今慌てて書いています。

国際ロータリーは、My Rotary全会員登録を目指していますが残念ながら低調です。

日本全国での登録率は、30%程度にとどまっております。昨年11月に行われた神戸でのロータリー研究会でもなぜ低調なのかという話がありました。

その理由に、登録するのが難しそう、面倒くさい、あまり利用しないと思う等が考えられます。しかしながら、登録は、簡単です。5～10分で済みます。費用も全く掛か掛かりません。

My Rotaryとは、ロータリーの活動、地区・クラブ運営に必要な情報やデータを随時入手できる便利なシステムです。クラブ会長・幹事・委員及び事務局の方々はもちろん会員にとりましても「ロータリー・クラブセントラル」(寄付目標、会員増強目標に設置)、会員情報(入退会更新)、各種報告書、その他クラブ運営にとって不可欠なオンラインシステムであり、クラブの現状・目標・世界の情報を知ることができます。自分たちのクラブがどんな方向を目指しているのか、いま私たちは何をしなければならぬのかアドバイスを求めることができます。もちろん世界の情報も盛りだくさんで容易に検索できます。

「ロータリーの友」1月号横組18ページに、「My Rotary 登録率」の記事があります。残念ながら、2500地区は、20%で34地区中28位です。

しかしこの登録率こそ各クラブが少し頑張れば、かなり上位に行けるものです。

下位3地区	登録率	上位3地区	登録率
2540地区(秋田)	14%	2660地区(大阪)	64%
2700地区(福岡)	15%	2770地区(埼玉)	63%
2800地区(山形)	16%	2680地区(兵庫)	61%

2500地区のまだMy Rotary未登録の方、登録をお願いします。

PCよりMy Rotaryを開き、登録するに進みアカウント作成するとほぼ終了です。

登録率を高め何とか15位以上に成れば、キラッと輝る、地区になります。

私は、年度スタートから第2500地区が、注目される地区になりたい、なろうと話してきました。千載一遇のチャンスです。

クラブ会長の皆様、My Rotary登録率を高めるようご指導ください。お願いします。

残り任期半年を切りました。地区のためにこれからも情報発信に努めます。

バケツの穴をふさぎ、 新しい水を注ごう！



会員増強委員会

委員長 **東海林 勉**
(遠軽ロータリークラブ)

会員数の増減と例会出席率に相関関係はないと思いますが、ある傾向を読み取ることが出来るのではないかと思います。

過去100年も重視してきた「例会出席」はロータリアンの三大義務の一つである、と言われてきましたが、2016年規定審議会では、「柔軟性」という「例外規定」の導入で大幅に緩和されました。

最近5年度間（2014～2019年度）の会員数の推移を見ると、7月1日から7月末まではグラフ1と表1の「7月増」欄の通り毎年増えており、その後10～11月末までは増加傾向にあります。

しかし、年末は減少、翌年1～2月末まで増加傾向にあり、3月末に減少、4～5月にかけて増加しますが、毎年度末にはご覧の通り大幅に減少します。このパターンを繰り返していますが、2019～2020年度7月1日～11月末までは多少違い、会員数の推移はここ5年間の中間を示しています。

一方、例会出席率の推移（グラフ2）は、同期間、年度初めは上がり、減少が目立つ月もありますが、12月末と3月末～4月末は逆に上がっています。年度末もやや近い傾向を示しています。

今年度（メーキャップの規約改正により4～5クラブがデーター未提出）9月末、10月末は例年になく下がっています。出席率76.4%は恐らく過去最低の数値ではないでしょうか。11月は若干回復しています。

うがった見方かもしれませんが、退会者は「出席計算会員数」から減ぜられるので、結果、出席率が上がる場合もあるのでしょうか。

会員増強はまず「元気のある例会」から、と言われております。

しかし、「クラブの健全性を出席率だけできめるものではない」、あるいは「例会出席率だけがクラブ活力の指標ではない」等、とも言われております。

今後、2016年及び2019年規定審議会の影響がどのように現れてくるか分かりませんが、従前の対応では、折角新会員を増やしても、片やマローニーRI会長の言うとおりの「穴の開いたバケツからただ漏れしていく」状況は無くならないでしょう。

本年の干支「子」は繁盛の年とも言われます。新しい仲間を増やし、既存会員を大事にしていきましょう。そして、2月はロータリー創立の月です。

各クラブで会員増強委員会は特に出席委員会、あるいは推薦者・紹介者等と密に連携を取って下さい。退会者には必ず兆候があります。自クラブの出席状況を確認、傾向を読み解き、丁寧で思いやりのある対応を講じて、3月の落ち込み、特に5月から6月の落ち込みは大きいので（地区ではこの5年間同月で毎年平均47.4人が減少）、今後の会員獲得力・維持力を高め、退会防止に注力していただきたいと存じます。

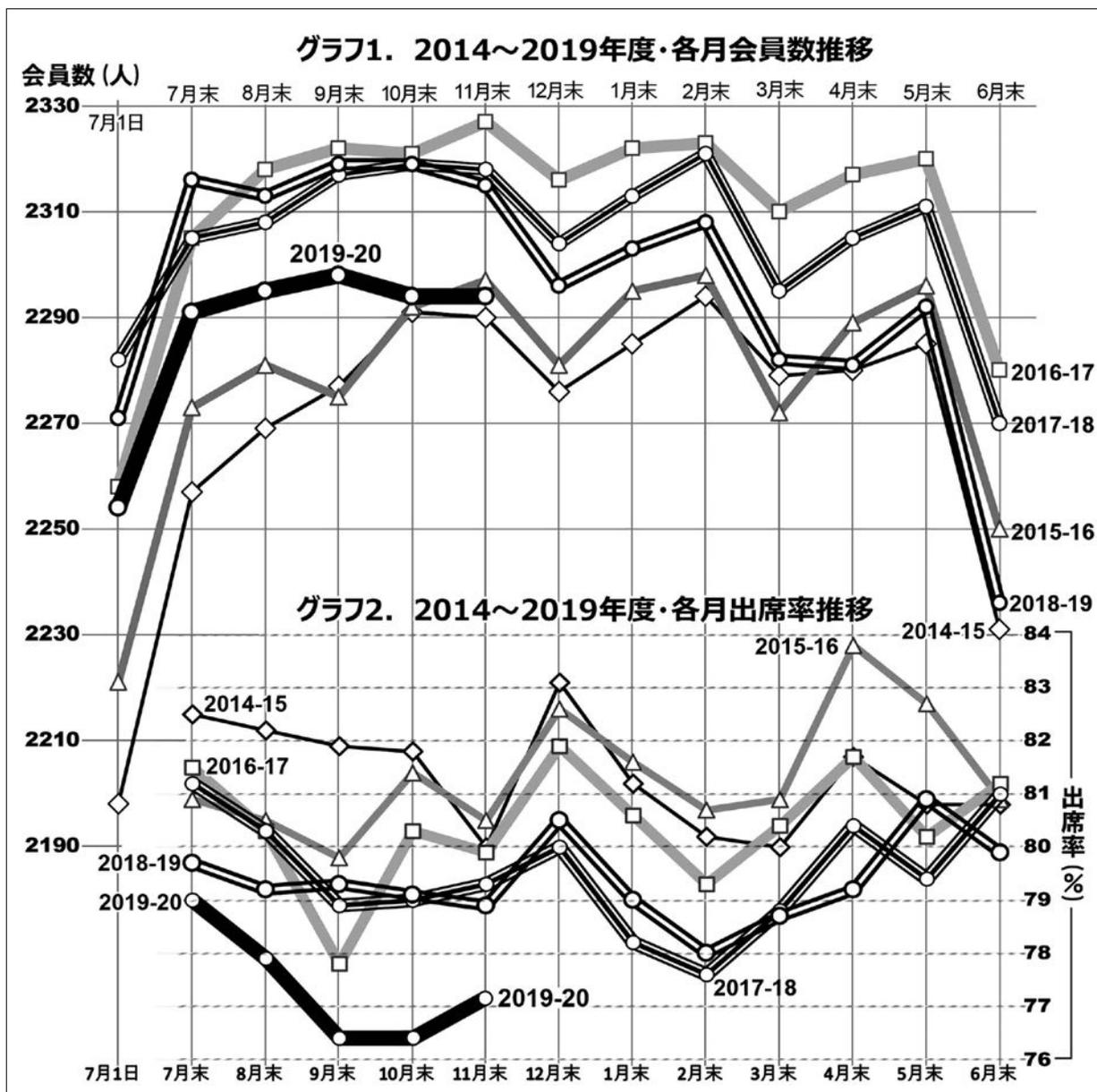


表1.2014~2019年度・各月会員数推移

年度\月	7月1日	7月末	7月増	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末	対前月	年度間
2014-15	2198	2257	59	2269	2277	2291	2290	2276	2285	2294	2279	2280	2285	2231	-54	33
2015-16	2221	2273	52	2281	2275	2292	2297	2281	2295	2298	2272	2289	2296	2250	-46	29
2016-17	2258	2305	47	2318	2322	2321	2327	2316	2322	2323	2310	2317	2320	2280	-40	22
2017-18	2282	2305	23	2308	2317	2319	2318	2304	2313	2321	2295	2305	2311	2270	-41	-12
2018-19	2271	2316	45	2313	2319	2319	2315	2296	2303	2308	2282	2281	2292	2236	-56	-35
2019-20	2254	2291	37	2295	2298	2294	2294									

※データは「ガバナー月信：例会出席率及び会員数推移」より

1年間のイギリス 留学を終えて

第2500地区グローバル補助金奨学生

西 浦 早 織



皆様こんにちは。2018年8月から2019年9月にかけて、グローバル補助金で奨学金を頂きイギリスに留学をしていました。今回はイギリスでの留學生活と、ロータリーでの活動について記事を書かせていただきます。

私が留学をしていたノリッチ（Norwich）という街はイングランド東部に位置し、ロンドンから電車で2時間ほどのところにあります。ノーフォーク州の州都であるこの町の人口は約15万人で、中世以前から商業都市として栄えているところでした。州として農業が盛んな地域で、街中は中世の面影を残しつつ、一步郊外に出ると緑が多く、牛や馬、ヒツジ、豚などが見られるのどかな街です。ノリッチ大聖堂や、1000年以上の歴史を持つノリッチマーケットなど、観光地としての魅力を持つばかりでなく、イギリス人からみても比較的治安が良く美しくて住みやすい街として知られています。

1. 大学生活

私が留学をしていた大学は、そんなノリッチが唯一持つ総合大学、イーストアングリア大学（University of East Anglia: UEA）です。文学部、国際開発学部、環境学部などが有名で、2017年にノーベル文学賞を受賞したカズオ・イシグロの母校でもあります。日本人には開発学が人気の大学で、国際開発学部の大学院だけで25名ほどいましたし、学部生や交換留学生も含めると50



大学のアイコンであるピラミッド型のジグラット。私が住んでいた寮です



特に仲が良かった寮の友人たち。

～60人ほどいました。市街地からバスで20分ほど離れた場所にあり、大学構内は非常に広く緑に溢れています。私が所属していたのは国際開発学部の大学院で、162人の生徒が13のコースに分かれて勉強していました。5人のコース等もありましたが、私が所属していたのは一番総合的なコースで、30名ほどが所属していました。国籍は様々で、イギリス人、日本人はもちろん、ケニア、ウガンダ、韓国、メキシコ、ドイツ、トルコ、中国、インドなどからの生徒もいました。また、年齢も21歳から60代まで幅広く、子どもを連れて夫婦ともに学ぶ方もいました。

大学院では、学期ごとの授業数は少な

いものの、毎週の講義・ディスカッションに向けての予習（参考文献）がとても多く、24時間365日開いている図書館には随分助けられました。課題のレポートを書くため大量の文献を読んだり、期末試験に向けて勉強したり、大学構内の寮から徒歩2分だったので大変良い環境で勉学に励むことができました。



カウンセラーのジェイニーさん（左）

また大学寮は、一番安いところを選んだため4人で一つのキッチンと二つのシャワーをシェアしていました。特に仲が良かったのは台湾人の女の子とトルコ人・韓国人の男子です。1週間分の食料を一緒にネットスーパーで頼んだり、キッチンで小さなパーティーをしたり、偶に街まで出かけてレストランでご飯を食べたりと、ゆるく仲良く一緒に住んでいました。冷蔵庫の一棚の半分しか自分のスペースがなかったり、朝の時間にシャワーが混んだりと大変なこともありましたが、仲の良い友人もできて楽しい寮生活でした。



ノリッチクラブの夜間例会の様子

2. ロータリーでの活動

私が派遣されたのは第1080地区で、ノリッチやケンブリッジなどを包摂するイングランド東部の地域でした。ノリッチは市内に4つのクラブがあり、その内ノリッチクラブが受け入れクラブになってくださいました。イギリス滞在中のすべてのロータリー活動は、ノリッチクラブのジェイニーさんがカウンセラーとなって面倒を見てくださいました（写真参照）。渡英前からメールをくださり、到着後も例会の出席や他クラブ訪問のアレンジのほか、ミュージカルに招待して下さったりしました。度々ホームディナーにも呼んでいただき、なかなか触れることができないイギリスの文化を知ることもできました。とても陽気で面白い方で、大学外の一友人として仲良くしていただきました。

ノリッチクラブは30~40名前後のクラブで、毎週夜間例会を開催しています。ラフな格好で参加される方も多く、ゲストにコメディアンを呼んだり、愛犬と参加していたりとフレンドリーで話しやすい方ばかりでした。一方お隣のノリッチ・セントエドモンドクラブは、会員数は少ないものの格式高い雰囲気が特徴的です。イギリスのロータリーは国際的にみても他の国と少し雰囲気が違うと伺っていましたが、同じ町のなかでも随分異なっており興味深かったです。

また、イギリスとアイルランド全土か



ノリッチ・セントエドモンドクラブの夜間例会

ら奨学生が集まりネットワークを作るイベントにも参加しました。奨学生全体の半分である約50名が参加し、イギリスの食文化やロータリー活動について学びました。アメリカ55%、日本35%、その他カナダや南アフリカ等10%という割合で、なかなか途上国からロータリーの奨学金をもらって欧州へ留学するのは、物価の違いや会員数の違い等で難しいのかなという印象を受けました。

3. 修士論文について

修士論文のタイトルは“The Re-emergence of Magical Power in Sub-Saharan Africa? A Study of Ebola Pandemic in West Africa”で、日本語に訳すと「サブサハラアフリカにおける魔力の再興—西アフリカにおけるエボラ大流行の研究」になります。

2013年末から2016年にかけて西アフリカで猛威をふるったエボラ出血熱は、1万1千人の命を奪いました。それ以前にもエボラの感染は確認されていましたが、史上最悪の規模でした。主な原因として、人々の越境活動が活発であったことや内戦後で国家規模の医療・公衆衛生システムがなかったこと、エボラに対応した経験がなかったことが挙げられます。

しかし特に顕著だったのは、エボラの拡大を防ごうと介入した世界保健機関（World Health Organization: WHO）や国境なき医師団、赤十字などのエボラへの対策に対する激しい抵抗でした。スタッフが検診・啓発のため村に入ろうとしてリンチされたり、治療センターが襲撃されたりしました。

その際に使用されたディスコース（言説）が魔女／魔力／呪術です。魔力なんて聞くとどこか



他の奨学生とともに

違う世界の話、おとぎ話と感ずるかもしれませんが、私たちが星座占いやおみくじの結果、不吉な語呂合わせ、厄年などを気にしてしまうのと大差ないと考えています。例えば不慮の事故が起こった際に、魔女の仕業だと考えるなど。では、なぜ彼らは魔女という言葉を使って、エボラへの対応に抵抗をしたのか。人道的介入・開発援助はどのように現地の社会文化に制約されるのか。これが私のリサーチクエストでした。

エボラ対応への抵抗には、大きく分けて3つの理由があったというのが私の見解です。1つ目は、西洋に対する不信。西アフリカの3カ国、ギニア、リベリア、シエラレオネは、400年の間奴隷貿易が行われてきました。奴隷貿易が廃止され、脱植民地化した後は、外資企業による自然資源の掘削が行われ、経済的搾取は続きました。このような状況のもと、白人に対する根深い不信感は今もなお残っています。2つ目の要因は、自国の政府に対する不信です。長年国内のひと握りのエリート層は、奴隷貿易や鉱物資源の掘削で甘い蜜を吸ってきました。その利益は下層まで滴り落ちず、多くの国民は政府やエリート層に対しても不信感を持っています。これは特にイギリスによる直接統治が行われていたギニアで顕著です。そして3つ目に、死にまつわる儀式をないがしろにされたことが挙げられます。西洋的な医療行為や病院は浸透していましたが、それらは彼らの土着文化とうまく融合したものでした。例えば、患者の家族が洗濯や食事など身の回りの世話ができるよう（親族がやることを大切にしています）に病院のレイアウトに工夫がされているなどがあります。しかしエボラの流行は突発的で緊急性を要するものであり画一的な治療センターが作られたほか、エボラの特性上隔離が必要でした。また、通常患者の死後は魔力があったかどうか調べるための“検死”が行われますが、同じくエボラの性質上、遺体はプラスチックの袋に入れて遺族のもとに返され、触れることは許されませんでした。このように、死生観・死にまつわる儀式の重要性とエボラウイルスの特徴が衝突しました。

普段はうまくバランスを取りながら隠してきた確執が、エボラの流行とそれに対する介入をきっかけに可視化された結果がエボラ対応に対する抵抗だったと言えます。その中で魔力というディスコースは、身近であったうえ、奴隷貿易の時代から富や財力と結び付けられやすいものであり（西洋の製品等富の象徴は度々魔女の街と結びつけられて考えられていた）、また西欧が時代遅れというレッテルを貼ったものでもあったため、抵抗の際に頻繁に使用されたのではないかと考えられます。

この度の留学を通して、専門としていた開発学の研究はもちろん、多様なクラスメイトから多くの価値観を学びました。また、奨学金を通して北海道とノリッチのロータリアンの皆様と知り合うことができました。もし日本の大学を卒業しそのまま大学院に残っていたら出会えなかった人やもの、考え方に出会えたのは、まぎれもなく皆様から頂いた温かいご支援のおかげです。どうもありがとうございます。4月からは東京に戻り、社会人として新たなスタートを切ります。第2500地区の皆様とお会いできる機会は減ってしまいますが、節目節目でご報告をさせていただきます。今後ともよろしく願いいたします。

国際ロータリー第2500地区 2019～2020年度 米山奨学生面接試験

米山記念奨学会運営委員会

委員長 **松浦 信一**

(北見西ロータリークラブ)



12月8日(日)第2500地区の次年度米山奨学生の面接試験を実施しました。2019～2020年度の当地区の新規米山奨学生の採用枠は9名ですが、2名継続する学生がいるので7名を採用となりました。今回地区の指定校から19名の応募をいただきました。内訳は中国、韓国を始めネパール、モンゴル、ポーランド、ガンビア、ソロモン諸島となっています。事前の書類審査に加え、当日の面接試験という例年通りの運びで進められました。

面接会場のOMO7旭川にて、午前11時から開始しました。面接官は吉田ガバナー、松田ガバナーエレクト、米山記念奨学会理事の柴田パストガバナー他、私を含め5人の米山記念奨学会運営委員会の委員が担当させていただきました。

19人の応募者はそれぞれ、氏名、出身、所属大学などの自己紹介から始まり、各面接官からさまざまな質問を受ける形での面接試験となりました。その中で人柄、将来の目標、交流と親善への熱意など米山奨学生としての適正を評価していくのですが、今回も大いに悩みました。それは「どんな奨学生を採用したかで奨学事業の価値が決まる」といわれているからです。毎年そうですが、本当に素晴らしい学生の応募が多く、心情的には皆さん全員採用してあげたい気持ちになってしまうのです。

米山記念奨学会は2年前の地区米山奨学会の寄付総額で奨学生の採用数が決定します。今回は採用枠が増えたものの、私たち米山記念奨学会としてもっと地区のロータリアンの皆様方に、この事業の重要性や寄付のお願いをお伝えできたのではないかと反省させられます。採用できなかった学生達に申し訳ない気持ちになってしまうのです。この地区には本当に素晴らしい学生がたくさんいます。世界の架け橋になるような多くの奨学生を採用するために、どうか地区のロータリアンの皆様方には毎年12月のこの時期に、このような素晴らしい学生とのやりとりがあるということをご理解いただき、この事業に対して深いご理解、ご協力、ご支援をいただければ幸いです。

なお今回採用した奨学生は、2020年4月にオリエンテーションを実施し、その後世話クラブの皆様のお世話になる予定です。どうぞよろしく申し上げます。



ガバナー公式訪問同行記 補佐の役得

第8分区ガバナー補佐

今井善昭

(弟子屈ロータリークラブ)



私の職業はテレビの番組製作でして、カメラマンを兼任し自ら動画を撮することもたまにあります。報道の撮影などでは撮影対象に対しての位置どりが重要なポイントとなる事があり、「被写体に対しどれだけ近づけるか」、「どの角度から狙えるか」・・・おおきなポイントとなります。(パパラッチなんかで分かりますよね)

公式訪問時、補佐は多くがガバナーの隣に座ることになります。これは絶好のカメラポジションです。「ま(真)」横からは他のカメラマンにはとれない絶好のショットを撮影することが可能です。浜中ロータリークラブでは吉田潤司ガバナーの左横、厚岸、根室西、根室、別海、弟子屈、中標津ロータリークラブでは右横でした。(たぶん)

写真は8分区で2クラブ目に訪問した浜中ロータリークラブにてのショットです。7クラブでの写真から選んだ(私なりの)ベストショットです。会員増強について話すガバナーの横顔、そしてその熱意を表現する手、さらに、浜中ロータリークラブの特長であるルパン三世と五エ門がフォーカスアウトでバックに映っています。私の位置からでしか撮れないショットです。(いいショットでしょ)公式訪問同行で特に感じたのは、ガバナーという「役」の物理的大変さです。補佐は「社長の営業プレゼン出張に同行する地区ごとの部下」のようなものですが、実際ガバナーは私の8倍のクラブを回られています。1クラブ3時間その往復に平均2時間としても1クラブ5時間、おそらく丸400時間は費やされています。分区だけでも大変だなと考えていた私はまずはそれを体感し、そして驚きました。ここは将来是正すべき点かなと感じています。

ところで、放送業界では「テレビショッピング」(いわばCM)を7回以上見ると購入確率が大幅に増加すると言われています。何回も見聞きすることにより知らず知らずのうちに共感することになります。今回、ガバナーの横に座らせていただき、ガバナーの増強に関する同じ話を7クラブで7回聞きました。ガバナーの夢は会員増強により各クラブが栄光の時代へ戻る事かなと感じました。「夢」は「文字で書く」「言葉に出して言う」「多くの人に伝える」を実践することによっていつか必ず叶うといひます。ガバナーの「経(卓話)」を無理と感じず夢を共有すれば、必ず第2500地区は活性化されることでしょう。ここで、「表題」の件・・・に戻ります。

- 壺 ガバナーのベストショットが撮れること
- 式 ガバナーの「経」を何度も聞くことができること

これすなわち「ガバナー補佐の役得」と言えましょう。



2020年1月6日

国際ロータリー第2500地区
ガバナー 吉田 潤司

2020-2021年度 ガバナーノミニー (2022-2023年度ガバナー) の宣言

2019年12月9日に国際ロータリー第2500地区2019-2020年度ガバナーノミニー・デジグネート(2022-2023年度ガバナー)を、RI細則12.030.5の定めに従い第2500地区内67クラブへ公表いたしましたところ、指定期日2019年12月23日までに対抗候補者の提出は有りませんでした。

よってRI細則12.030.10の定めにより、指名委員会を選出した久木佐知子君を2020-2021年度ガバナーノミニー(2022-2023年度ガバナー)とすることを宣言いたします。

経 歴 書



2020-2021年度ガバナーノミニー

ひさき さちこ
久木 佐知子

生年月日 1959年10月9日

勤務先 有限会社ギャラリーシーズ 代表取締役

所属クラブ 旭川西ロータリークラブ

ロータリー歴

【クラブ】 2005年 旭川西ロータリークラブ入会
2009年度 幹事(理事)
2011年度 副会長(理事)
2013年度 会長

【地 区】 2015年度～18年度 VTT小委員会委員長
2018年度 補助金小委員会 委員

【表 彰】 2013年 ポール・ハリス・フェロー

米山奨学生レポート

日本における研究の成果と 学生として得たこと

バーナード・エフアンタス・グマ

(ケニア／帯広南ロータリークラブ：帯広畜産大学)



私は、食品科学、中でも特に食品技術と栄養学について研究を行ってきました。帯広畜産大学での研究により、食品製造およびバイオ技術はもちろん、食品の栄養機能に関する知識・技術の応用が広がりました。

また、設備の整った研究室は研究者にとって必要不可欠です。実験のために研究室の設備を気軽に利用できる環境が私自身の実験技術を一層向上させてくれたのだと思います。

日本のような先進国において、幅広い視野で農学を学ぶことは私にとって大変貴重な経験になります。特に食品科学や栄養科学といった研究をはじめ、日本で得た知識や技術を、母国ケニアの農業開発に生かしたいと考えているからです。このことを心に留め、私はホヤから抽出した複合脂質の食事摂取が大腸ガンの進行を抑制するのではないかと、いう仮説のもと研究を行っています。日本や世界の各地域では、私たちのライフスタイル、特に食生活の変化により、大腸がんの発生が増加しています。ホヤを食べたマウスでは大腸癌の形成レベルが低下したことが示されました。本研究では、一定期間ホヤを食べることで大腸癌の進行を抑制することが示唆されました。東京農業大学（世田谷キャンパス）で開催された日本生物科学・バイオテクノロジー・農学学会で本研究成果の一部を発表しました。現在は大腸ガンの進行におけるホヤの食品機能性に関するより多くの証拠を得るために、ヒト腸癌細胞を使用してさらなる追加実験を行っています。





公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

Vol. 238

2020年1月14日
発行

1. 第4代よねやま親善大使を募集



ロータリー米山記念奨学会では、第4代よねやま親善大使を募集しています。「よねやま親善大使」には2013年からこれまでに計8人の大使が任命され、日本全国のロータリー地区大会・セミナー・例会などで米山学友の代表としてスピーチすることにより、当事業への理解を広める活動をしています。日本国内在住の米山学友（現役奨学生を除く）で、スピーチが得意な方、ロータリー

活動に熱意のある方の応募をお待ちしています。任期は2020年7月からの2年間です。応募締切は、2月19日（当会必着）です。詳しくは、当会ホームページの「News & Topics」>「重要なお知らせ」をご覧ください。お知り合いの学友で適任の方がいれば、ぜひご推薦ください！（学友本人からの応募が必要です）



2. 海外応募者対象奨学金申し込み状況

7年間の試行を経て、2019学年度から正規プログラムとなった海外応募者対象奨学金は、日本での留学先を決定している外国人が海外から直接応募できる渡日前予約型奨学金です。在日留学生からの選考ではないため、留学生の国籍や人材の多様化が期待されます。

2020学年度の募集には、12月15日の締切までに世界35の国・地域から168件の申し込みがあり、無資格者を除く有効申込数は101件（複数校を併願している者の重複を含む）とな

りました。有資格者の出身国・地域はインドネシア、ベトナムが多く、ロータリー地区別では34地区中29地区に申し込みがあり、最多は第2760地区（17件）、次いで第2510地区と第2580地区（各12件）となっています。今月6日から地区へ応募書類を郵送しており、今後、地区選考委員会による書類選考（地区によってはSkype等による面接あり）を経て合格者が決定します。

3. 寄付金速報 — 前年度に比べてやや減少 —

12月までの寄付金は前年同期に比べて1.6%減（普通寄付金:0.2%増、特別寄付金:2.2%減）となりました。約1,400万円の減少ではありますが、皆さまからのご寄付に心より感謝申し上げます。「2019年度 下期普通金寄付のお願い」を当会から直接、またガバナー事務所を通じて全クラブへご案内しています（既に下期分の寄付を送金いただいたクラブにも自動配信されます、何卒ご了承ください）。普通寄付金は当事業の重要な安定財源であり、また、国内

全クラブから普通寄付の確約を得て財団法人の認可がおりたという経緯もあり、全クラブへお願いしております。2020年も引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願いいたします。

昨年1年間（1～12月）に特別寄付をしたすべての方、もしくは普通寄付金の領収証を申請したクラブには、1月末日までに（確定申告に間に合うように）、認定証の写しが付いた申告用領収証をロータリークラブ宛に送付します。

4. 2020-21 年度地区米山奨学委員長セミナーを開催

次年度地区米山記念奨学委員長を対象とする第1回セミナーを12月10日に開催しました。

午前は、主に初めて委員長を務める方と希望者を対象とした「基礎研修会」とし、選考・学務委員の安増惇夫理事（第2700地区）から「委員長の一年」と題する講話をいただきました。午後からは「合同研修会」となり、各種説明の後、4グループに分かれて「理解促進から寄付増進へ」「選考について」「奨学生育成から学友会」の各テーマにつ



いてディスカッションしていただきました。

参加者アンケートから見る満足度では、講話「委員長の一年」とグループ

ディスカッションが特に「参考になった」と評価が高く、滝澤功治常務理事／規定検討委員会委員長からの「業務委託について」の説明が続きました。セミナー終了後の懇親会で、地区を越えたネットワークがさらに深まった様子でした。第2回セミナーは、新年度直前の6月22日（月）に開催予定です。

5. ロータリーの輪で実現「こころのサンタ運動 in 千葉」

大阪府枚方市で英語スクールを運営する米山学友のカレン・ジュリア・ウォーターズさん（オーストラリア／1992-94／京都南RC）は、日本の子どもたちに「奉仕の精神」と「人を思いやる心」を育てたいと、さまざまな奉仕活動を行っています。その一つとして6年前から行っているのが「こころのサンタ運動」。英語スクールの生徒たちが菓子を持ち寄り、街頭募金で集めた寄付金を、その年に日本国内で大きな災害に見舞われた地域の子どもたちへ贈る活動です。

今回は、今年の台風で被災した千葉県で受け入れ先を探し、第2790地区米山記念奨学委員会の鈴木荘一委員長と鋸南RCの清水一成会長の協力により2地域での受け入れが実現しました。12月24日の朝、プレゼントを車に満載し



て千葉県に到着したカレンさん一行は、君津市の「はぐくみの杜」を訪問。大喜びの子どもたちに見送られて鋸南町に移動し、町立鋸南保育所の園児たちと英語の歌遊びを楽しみ、一人ひとりにプレゼントを手渡しました。また、スクールの

子どもたちが街頭募金で集めた寄付は、清水会長を通じてその日のうちに鋸南町教育委員会へと届けられました。

翌日、大阪に戻ったカレンさんの元に、東京オリンピックの聖火ランナーに選ばれたという吉報が届きました。「子どもたちのためにますます頑張ります！」と、カレンさんは意気込みを語っています。



2月の海外米山学友会総会

◆マレーシア◆ 2020年2月16日（日）14:00~17:00 / 会場：YMCA KL / 申込み：
yoneyama.malaysia@gmail.com

◆タイ◆ 2020年2月22日（土）17:00~18:00 総会 18:30~ デイナー / 会場：S31
Hotel / 申込み：thaiyoneyama@gmail.com（担当：ワシン）

本年もどうぞ
よろしくお願
いします！



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津(のづ)・峯(みね)

Rotary
Region 1 & 2 & 3



コーディネーター 2020年2月号
NEWS

発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

今回はロータリー財団の補助金を活用した公共イメージと認知度の向上例を紹介します。

当2600地区の松本市は三つの「ガク都」をうたっています。優先順位はありませんが一つは市内から身近に見える北アルプスの雄大な山々の玄関口としての「岳都」、二つ目は信州大学や松本大学などのキャンパスがある街としての「学都」、そして三つ目は国際的な音楽祭「セイジ・オザワ松本フェスティバル」やバイオリンなど弦楽器の指導法「スズキ・メソード」発祥の地でもある街としての「楽都」です。

そこで当地区で最も歴史のある松本ロータリークラブは公共イメージと認知度の向上と「楽都」としてのPRを願ってユニーク且つ大変意義のある取り組みをしました。

NHKテレビに『駅ピアノ、空港ピアノ』という番組があります。駅や空港など多くの人々が行きかうスペースにピアノを置いて誰でも自由に弾く事が出来るというものです。

そんな公共の場にピアノを置く「ストリートピアノ」が欧米で広がりを見せている事から松本の玄関口で楽しくピアノを弾いてもらい音楽が溢れる空間を創りだそうと願い松本ロータリークラブの直前会長、折井正明さんを中心に財団補助金とクラブの支援でピアノを購入「楽都まつもと夢ピアノ」と名付けJR松本駅自由通路に設置しました。お披露目コンサートには駅の利用者など100名近くが集まり長野市出身でワルシャワ在住のピアニスト山本貴志さんがショパンの2曲を演奏したり小学校5年生がジャズを演奏し聴衆を楽しませてくれました。ピアノの脇には私達ロータリアンの誇りのシンボルであるロータリーエンブレムが大きく入ったスマートなアクリル板が置かれロータリークラブがこのピアノを設置した事を人々に伝え公共イメージと認知度の向上に大いに役立っています。この奉仕活動はテレビや新聞で大きく取り上げられましたが一か月半後にも新聞で一面カラーで再度報道されました。そして嬉しいことにこのピアノの調律師が松本ロータリークラブに入会するという事もあり、やはり公共イメージと認知度の向上が会員増強の為にも不可欠だと改めて実感しました。日本中の多くの駅や空港などでロータリークラブが設置したピアノが多くの人々の心を和ませ結果としてロータリーの公共イメージと認知度の向上になり更に会員増強に繋がるならば夢の様な素晴らしい事ではないでしょうか。

第2地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 原 拓男



文庫通信 [380]

ロータリー文庫通信380号 2019年12月 ロータリーの古典文献から今を考える

10月初旬に松宮元R1理事から論稿が届いた。以前、文庫から「ロータリーの解析」の原書のコピーを持ち帰られたことがある。原書を座右に置き、未来のロータリーの姿に思いを馳せ、思索を重ねて書き上げた論稿だと思う。1935年「ロータリーの目的」がほぼ今の形になった頃、そこに込められたロータリーの基本理念は何だったのか。1927年オステンド国際大会を契機に四大奉仕部門を取り入れた時が、ロータリーの最初の大きな転換期であった。今はそれ以上の大きな転換期を迎えている。2019年規定審議会制定案19-117の採択により、国際ロータリーは「公共慈善団体」を目指すことになったのだから。皆さんの今の思いを是非文庫へ寄稿してください。(N.S.)

書名	著者/出版社	発行年	頁	※
「ロータリー解析 (The Meaning of Rotary)」を読む	松宮剛 -	2019	10P	※
ロータリーの綱領	直木太一郎 -	友：1972 ・2月	5P	※
THE MEANING OF ROTARY	Vivian Carter R.I.B.I	〔1927〕	82P	※
The Meaning of Rotary ロータリー解析	Vivian Carter 著；田中毅訳 -	1999	101P	※
The Aims and Objects Plan Pamphlet No.3	- R.I.	1931	53P	※
目標設定プラン -四大奉仕- (The Aims and Objects Plan Pamphlet No.3)	東昭二訳 -	-	39P	※

・上記 ※印はデジタル化されている資料です。

*資料の検索は文庫ホームページから <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

ロータリー文庫通信

ロータリー文庫の資料から、毎月資料を厳選して発信しています。詳細はこちらへ

ロータリー文庫検索

2万点余りある資料を検索出来ます。PDFのみの検索もできます。詳細はこちらへ

ロータリー文庫について

- ・文庫について
- ・HP利用方法
- ・運営委員会から

<デジタル化資料>

[主なデジタル化資料はこちら](#)

Click!

こちらをクリックすると、デジタル化資料の中で、おすすめの書籍資料リストをご覧いただけます。

新入会員の紹介

●第1分区
(豊富ロータリークラブ)お が さ わ ら て る み
小笠原 照 美

●葬祭業

●1954年11月30日生

●2020年1月1日入会

●第1分区
(豊富ロータリークラブ)お か も と せ い や
岡 本 誠 也

●教育行政

●1959年6月4日生

●2020年1月1日入会

●第1分区
(豊富ロータリークラブ)ち ば ひ さ し
千 葉 久

●遊戯場

●1960年3月11日生

●2020年1月1日入会

●第3分区
(旭川南ロータリークラブ)た む ら そ う じ ろ う
田 村 総 司 郎

●総合印刷

●1973年8月8日生

●2020年1月6日入会

●第5分区
(清里ロータリークラブ)さ と う ま な ぶ
佐 藤 学

●農業

●1979年2月12日生

●2020年1月6日入会

●第5分区
(北見ロータリークラブ)と だ り ゅ う い ち
戸 田 龍 一

●種苗

●1952年4月24日生

●2020年1月8日入会

●第7分区
(釧路東ロータリークラブ)し み ず そ う い ち
清 水 荘 一

●型枠工事業

●1966年9月11日生

●2020年1月1日入会

ロータリー財団寄付者

分区	寄付の種類	氏 名	クラブ名	寄付月日	分区	寄付の種類	氏 名	クラブ名	寄付月日
3	MPHF+2	あ だ ち けい た 足 立 敬 太	富良野	11月28日	5	MPHF+3	おく や よう こ 奥 谷 雍 子	網走	12月25日
3	MPHF+3	い し ひら きよ み 石 平 清 美	富良野	11月28日	5	MPHF+2	よ ね む ら よ し か ず 米 村 喜 和	網走	12月25日
3	MPHF+6	い ま い か ず み ち 今 井 かず 道	富良野	11月28日	6	MPHF+3	し ら き ゆ き ひ さ 白 木 幸 久	音更	12月18日
3	MPHF+2	か ら まい た つ や 軽 米 達 也	富良野	11月28日	6	MPHF+1	な め き は や と 行 木 隼 人	音更	12月18日
3	MPHF+2	く ぼ ま さ き 久 保 昌 己	富良野	11月28日	6	MPHF+2	さ か い けい じ 酒 井 敬 司	帯広	12月20日
3	MPHF+1	こ じ ま ひ さ ゆ き 小 嶋 久 幸	富良野	11月28日	6	PHF	お お え へい 大 江 平	帯広	12月20日
3	MPHF+1	こ ば い り ゆ き 小 林 裕 幸	富良野	11月28日	6	MPHF+3	う す い ひろ ゆ き 臼 井 晃 行	帯広北	12月20日
3	MPHF+5	さい と う た か 隆 斉 藤 隆	富良野	11月28日	6	MPHF+4	おく だ よ り ま さ 昌 奥 田 頼 昌	帯広西	12月20日
3	PHF	にし か わ み つ ひ こ 西 川 充 彦	富良野	11月28日	6	MPHF+2	わ か ぼ い た け し 若 林 剛	帯広西	12月20日
3	MPHF+2	は せ が わ し ゅ う さ く 長谷川 周 作	富良野	11月28日	6	MPHF+2	い い だ ま さ ゆ き 飯 田 正 行	帯広西	12月20日
3	ベネファクター	か ら まい た つ や 軽 米 達 也	富良野	11月28日	7	MPHF+5	ひ ら い ま さ ひ ろ 平 井 昌 弘	釧路北	12月17日
3	年次基金	ゆ た あ さ ひ で あ き 湯 浅 秀 昭	Eクラブ	12月	8	PHF	あ き ほ と も ひ さ 秋 穂 智 久	根室	12月11日
5	P H F	き と ま さ ひ ろ 城 戸 正 博	網走西	12月20日	8	MPHF+1	と み や ま ま こ 富 山 誠	根室	12月11日
5	MPHF+4	ち か だ ひ ろ 近 田 光 廣	網走	12月25日					

米山功労者寄付者

分区	氏 名	クラブ名	寄付月日	回数	分区	氏 名	クラブ名	寄付月日	回数
3	い し ひら きよ み 石 平 清 美	富良野	12月2日	3	5	き と ま さ ひ ろ 城 戸 正 博	網走西	12月20日	4
3	か ら まい た つ や 軽 米 達 也	富良野	12月2日	1	5	ち か だ ひ ろ 近 田 光 廣	網走	12月25日	2
3	か わ み と も あ き 川 見 智 章	富良野	12月2日	5	6	い わ は ら み ち な お 岩 原 道 直	帯広南	12月17日	1
3	まつ だ ひ で お 松 田 英 郎	富良野	12月2日	2					

物 故 会 員

■第7分区 釧路ロータリークラブ



1964年12月 入会
 1968年 国際奉仕委員会委員長
 1978年 ローターリー財団米山
 ファンド委員会委員長
 1980年 職業奉仕委員会委員長
 1985年 会長
 1988年 ローターリー情報委員会委員長
 1999年 嵯峨記念育英会委員会委員長

くり ばやし さだ のり
栗 林 定 徳
 回漕業

2019年12月26日逝去
 (82歳)

■第5分区 斜里ロータリークラブ



1986年1月 入会
 1990年 幹事
 1993年 PHF
 1994年 副会長
 1995年 会長
 1996年 ベネファクター
 2015年 地区青少年奉仕委員長

とう どう よし あき
東 堂 義 明
 原種農場

2020年1月5日逝去
 (82歳)

「100%ポールハリス」達成クラブ



士別ロータリークラブ



釧路ロータリークラブ



白糠ロータリークラブ

分区	クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数				
				2019年 7/1	当月	増減	女性会員	
1	礼文	3	86.0	14	15	1	0	
	利尻	3	88.0	18	18	0	0	
	利尻島	3	67.0	12	12	0	1	
	天塩	2	77.8	8	9	1	2	
	豊富	4	100.0	20	19	-1	1	
	稚内	3	69.0	46	46	0	2	
	稚内南	4	97.2	36	37	1	2	
	計		83.6	154	156	2	8	
2	美深	3	91.3	25	24	-1	0	
	枝幸	3	82.5	23	26	3	0	
	名寄	3	87.6	59	61	2	2	
	中頓別	4	83.3	16	18	2	0	
	士別	4	78.7	48	47	-1	1	
	下川	3	80.0	4	5	1	0	
	計		83.9	175	181	6	3	
3	旭川	3	72.2	69	72	3	0	
	旭川東	3	※	34	31	-3	0	
	旭川北	3	75.2	41	44	3	1	
	旭川南	3	84.9	33	32	-1	0	
	旭川西	4	82.4	45	47	2	5	
	旭川東北	3	※	15	15	0	2	
	旭川モーニング	3	※	25	24	-1	4	
	旭川空港	4	75.0	12	13	1	3	
	美瑛	3	※	25	25	0	0	
	富良野	3	※	46	47	1	3	
	上川	3	76.7	10	10	0	0	
2500REクラブ	4	95.9	22	20	-2	1		
計		80.3	377	380	3	19		
4	遠軽	3	78.7	42	42	0	3	
	紋別	3	70.8	31	31	0	0	
	紋別港	4	82.7	33	33	0	0	
	中湧別	2	95.5	10	11	1	0	
	興部	4	73.0	16	16	0	0	
	雄武	4	68.0	11	13	2	0	
	滝上	3	76.5	17	17	0	2	
	計		77.9	160	163	3	5	
※印 メーカーキャップの規約改定により提出のないクラブです								
第2500地区	19年7/1会員数	当月末会員数	増減	平均出席率				
全67クラブ	2,254人	2,286人	32人	79.0%				
女性会員数	98人	98人	0人					
5	網走	3	89.5	51	51	0	8	
	網走西	3	83.9	50	52	2	0	
	美幌	4	91.5	58	58	0	4	
	北見	4	83.0	57	58	1	4	
	北見東	3	78.6	56	54	-2	2	
	北見西	3	85.1	65	65	0	0	
	清里	3	82.7	29	29	0	0	
	留辺蘂	4	74.9	24	23	-1	1	
	斜里	3	74.0	37	35	-2	3	
	計		82.6	427	425	-2	22	
	6	足寄	3	65.6	30	31	1	1
		広尾	3	77.3	22	22	0	0
		上士幌	3	76.3	15	15	0	0
		芽室	2	89.0	22	27	5	1
		帯広	3	64.2	89	92	3	6
帯広北		3	69.7	63	65	2	2	
帯広西		3	89.3	74	75	1	3	
帯広東		4	84.6	38	39	1	2	
帯広南		3	75.3	72	72	0	8	
音更		3	72.6	38	35	-3	3	
清水	3	68.8	18	19	1	2		
計		75.7	481	492	11	28		
7	釧路	4	84.2	95	99	4	1	
	釧路東	4	67.0	33	33	0	0	
	釧路北	3	73.0	77	78	1	3	
	釧路南	2	71.0	29	30	1	5	
	釧路西	4	75.0	28	27	-1	1	
	釧路ベイ	4	83.0	20	20	0	1	
	音別	4	63.0	16	16	0	0	
白糠	3	63.3	10	10	0	0		
計		72.4	308	313	5	11		
8	厚岸	4	71.9	16	16	0	0	
	別海	3	80.4	17	17	0	0	
	浜中	4	83.0	12	12	0	0	
	中標津	3	78.3	21	21	0	1	
	根室	4	75.7	38	38	0	0	
	根室西	4	81.4	50	54	4	0	
	弟子屈	3	58.8	18	18	0	1	
計		75.6	172	176	4	2		
総計		79.0	2254	2286	32	98		

■ガバナー事務所

〒085-0016 北海道釧路市錦町5丁目3
三ツ輪ビル2F
TEL 0154-61-0018 FAX 0154-61-0017
E-mail:rid2500-kushiro@orion.ocn.ne.jp

■GOVERNOR OFFICE

MITSUWA BLDG.2F 5-3,Nishiki-cho,Kushiro-shi,
Hokkaido,085-0016, Japan
TEL +81-154-61-0018 FAX +81-154-61-0017
E-mail:rid2500-kushiro@orion.ocn.ne.jp



霧多布岬の海洋を泳ぐラッコ



国際ロータリー第2500地区
2019▶2020 ガバナー

吉田潤司